

OS交配

○ハウス 半促成・雨よけ・夏穫り・抑制 1~8月播き

恵の風

めぐみのかぜ

高温下での肩張・尻コケ果が極めて少ない
早生で流れ果が少ない
褐斑病に強い



株式
会社

埼玉原種育成会

【特性】 高温下での肩張・尻コケ果極少、主枝果より良果で、安定継続して秀品多収となる。
「褐斑病」に強く、高品質品種。

適作型	ハウス半促成	1～2月播き	主枝着果率	60～80%	1～2果成り
主枝雌花率	ハウス雨よけ・夏穫り	3～5月播き	主枝着果率	50～70%	1～2果成り
	ハウス抑制	6～8月播き	主枝着果率	30～40%	1～2果成り
茎	主枝はやや太く、側枝は太さ中位、節間中位。				
葉	鮮緑色で中位の大きさ、垂れにくい。				
草姿・草勢	枝の発生はスムーズで、果の肥大とのバランスが良く、過繁茂になりにくく、受光性が良い。				
果実	100g果で20～21cm、トゲは大きさ、数とも程良い。首から尻まで良く整い、肩張・尻コケ果が極少ない。濃緑で光沢良く、果肉はしまって歯切れ良くおいしい。				
収量	主枝より果実肥大がスムーズ。側枝果の肥大も早いので初期から秀品多収となる。				
耐病性	褐斑病に強さを発揮する。				
備考	肥大性が良いため、しっかりとした樹作りが必要。 太り始めから早めに、小まめに追い込むタイプ。つるボケになりにくい。				

栽培のポイント

◆育苗

- ・鉢育苗では、リン酸を含む腐植の多い良質床土を準備する。定植時に鉢土が崩れない程度の育苗日数をとる。
- ・最適台木はOS交配ゆうゆう輝(黒タイプ)であり、高い生産力を発揮させる。

◆植え付け本数

- ・込みにくい品種であるが、あまり密植しない事がコツとなる。3.3m²あたり4～4.5株程度。

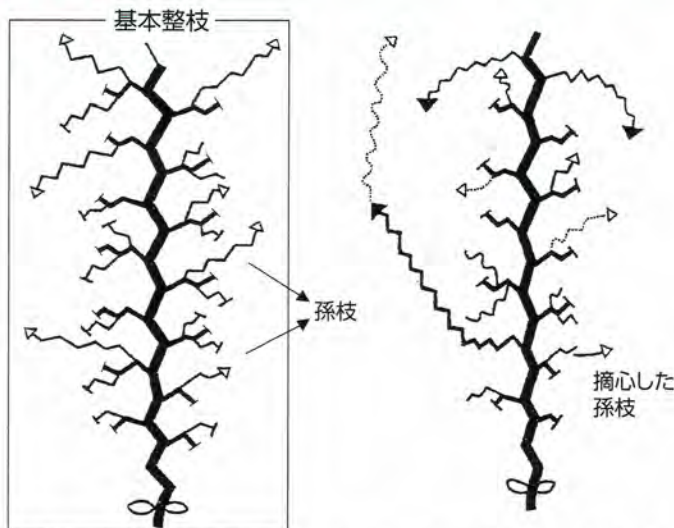
◆施肥

- ・元肥は、量や質は一般に準じて良い。バランスの良い肥効が、その後の草勢や品質・収量に影響するので、必ず施用前には土壌検定による施肥設計を行うと良い。
- ・追肥は、通常早めが良い。生育振りにも依るが収穫しようとする果実の開花より4～5日後、抑制では主枝の摘芯時等が追肥始めの目安となるので、肥料効果を上げるには少量こまめにやると良い。

◆灌水

- ・定植2～3日前に十分灌水しておき、定植当日に土中水分の過不足がないように準備する。定植後乾き易い抑制では、根量が増え日々生長は活発にあってくるまでは多めの灌水をする。各作型とも旺盛に生育できるよう活着後も水を切らさず、順調に側枝が発生し葉の展開がスムーズに行くよう適宜灌水していく。

◆整枝(春作)



- ①側枝は下節位を1節、中～上位節を2節で摘み、孫枝を半放任する。 ②中位節と上位節の側枝を1～2本伸ばし、孫枝は半放任。

※抑制では収穫前の摘芯枝は1節止がよい。

※収穫開始頃から、常に伸び続ける枝を4～6本確保し続けると良い。

◆摘葉

- ・収穫最盛期を過ぎる頃から、古い日陰葉や込み過ぎた部位を一回あたり1～2枚を限度として摘葉すると良いが、常に全体に亘り収穫果が見え隠れする程度に整える。



きゅうり・かぼちゃ・メロン育成元
株式会社 埼玉原種育成会
TEL.0480-85-0854(代)



OS交配種子 発売元
株式会社 シード
TEL.0480-85-7211(代)